

# 小林仁先生

## 名誉教授就任記念コンサート

2024/9/7 (土)

開演 16:00 (開場 15:30)

洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン 1F

JR 南武線「武蔵溝ノ口」駅 / 東急田園都市線・大井町線「溝の口駅」より南口下車徒歩 8 分

入場料 ¥2,000 全席自由 / 要予約 (4 歳以上入場可)

お問い合わせ先: 0907premium94@senzoku.ac.jp リンク: www.senzoku-concert.jp

- 演奏者 -

指揮: 白石光隆

ピアノ: 飯野明日香 魚谷絵奈 大澤美紀 草冬香 木幡律子 佐伯周子  
鳥居さお梨 服部真由子 村松恵子 諸原康代

打楽器: 賛助出演 打楽器コース大学院生 (詳細未定)

- Program -

- ・ R. ワーグナー / 小林仁 編曲: ニュルンベルクのマイスタージンガーより前奏曲 (4 台 16 手、打楽器)
- ・ J. シュトラウス / 小林仁 編曲: 美しき青きドナウ op.314 (4 台 8 手)
- ・ W.A. モーツァルト / 小林仁 編曲: ロンド ト長調 K.250 (1 台 4 手)
- ・ 小林仁「ふるさと」の主題と古典的な七つの変奏
- ・ J.S. バッハ / 小林仁 編曲: 2 台ピアノのためのコンチェルト 八短調 BWV 1062 (2 台 4 手)
- ・ J. ブラームス: ハイドンの主題によるバリエーション (2 台 4 手)
- ・ J. ブラームス / 小林仁 編曲: ワルツ op.39 Nr.1,4,12 (2 台 4 手)
- ・ G. ロッシーニ / 小林仁 編曲: セビリアの理髪師序曲 (2 台 8 手)

※演奏順とは異なります



洗足学園創立100周年コンサートの一連の行事のひとつであり、たまたま今年、私の洗足学園名誉教授就任とが重なった記念すべきコンサートです。

このコンサートのプログラムの大半は私の作編曲で占められています。ほとんどはピアノアンサンブルの授業に必要な教材のために書きためた曲です。ピアノアンサンブルとして連弾や2台ピアノのものは多く存在しますが8手連弾や、4台ピアノ用の編曲はほとんど存在しないのが実情で、これらは自分で作るしかなかったのです。でもこの仕事を私はとても楽しんでやりましたし、学生さんたちとも一緒に楽しく授業をしたものです。

今回記念コンサートとして洗足学園に勤務されるピアニストの先生方により、これらのものが再演されることになりました。特に4台ピアノ用の曲のためにスタインウェイのコンサートグランドが4台準備していただけることになって、ちょっと珍しい編曲のいくつかをお届けできることになりました。

## 小林 仁



1936年 三重県四日市市に生まれる。東京藝術大学在学中に安宅賞受賞。第25回日本音楽コンクールピアノ部門第一位特賞。1960年 第6回ショパン国際コンクールでファイナリスト、奨励賞受賞。ドイツ、バイエルン州政府給費奨学生としてミュンヘン音楽大学に約3年半留学。ピアノ演奏活動の業績、リサイタル活動の傍ら40曲以上のピアノコンチェルトもしくはピアノとオーケストラのための作品をN響はじめ、国内外の多数のメジャーオーケストラと共演。

室内楽活動として、ピエール・フルニエ、ヨゼフ・スーク、ミシェル・シュバルベなど世界第一級の演奏家との共演も多い。現代音楽の初演、再演にも多く関わり、軽井沢の現代音楽祭で演奏したピエール・ブーレーズの第一ピアノソナタ本邦初演が高く評価されて20世紀音楽研究所賞を受賞。指揮、作曲、編曲の分野でも業績を残したが、特に編曲に関しては幼少時から生涯にわたってさまざまな形で関わり続けた。教育者としては、東京藝術大学教授、その他の音楽大学で多くの俊才を育てた。門下生からは国内、国際コンクールに多数の優勝者、受賞者を輩出。浩宮殿下（現今上天皇）には約3年にわたりピアノをご進講。日本音楽コンクール、ショパン国際コンクール、ジュネーブ国際コンクールなどの審査員も務めた。

2010年ショパン生誕200年記念の年に際し、ポーランド政府よりアルティスグロリア金勲章を授与される。2016年瑞宝中綬章を叙勲。日本ショパン協会会長、(財)日本ピアノ教育連盟会長、札幌大谷大学芸術学部長などを歴任。現在、東京藝術大学名誉教授、札幌大谷大学名誉教授、洗足学園音楽大学名誉教授、昭和音楽大学客員教授。(財)日本演奏連盟常任理事、日本アルバンベルク協会常任理事。